

## 書き初めの会

1月10日（水）に「書き初めの会」を実施しました。どのクラスも、この日に向けて練習を重ねてきました。小学校では1年生と2年生が硬筆、3年生から6年生は毛筆に取り組みます。お手本の題字は毎年決まっており、昨年度の学習発表会の作品を思い浮かべて臨書します。一方、中学校では毎年、お手本の題字が全て変わり、前年度の作品がないという緊張感があります。しかし、見方を変えれば、新しい文字に挑戦するワクワクした気持ちにもなれます。練習では授業の最後に、その日書き終えた作品を並べて友達と見比べながら「この部分はこっちが上手かった」「ここがもう少し上手く書けたらよかったのに」など、お互いに感想を述べ合いながら確実に上達していました。



当日は小学校1年生と小学校2年生の準備が早く、気持ちを切り替えて臨もうとする意欲がよく伝わってきました。小学校3年生から中学生は、体育館の床に正座で姿勢を整えて毛筆を書きました。特に毛筆では同じ姿勢を長時間続けるために姿勢を保ち、集中力を高めることはとても苦しい作業です。しかし、どの学年も周囲の雑音に気を取られず、粘り強く気持ちをつなげて臨書していました。真剣に取り組んだ作品は、どれも輝いて見えました。書き初めの会では、全校児童・生徒がお互いに意識し合いながら、清書に向かう緊張感を高めていました。心を込めて丁寧に臨書した作品、運筆を意識しながら仕上げた作品、同じお手本を基にした作品でも、他にはない個性が光る作品に仕上がりました。1月27日の学習発表会では、お互いの作品の良さを認め合いながら鑑賞する姿を見ることができました。

## 百人一首大会

1月12日（金）5校時に、百人一首大会を実施しました。百人一首大会では、小学3～6年生の部、中学生の部に分かれ、各リーグで1対1の源平合戦を行い、トーナメント方式で試合を行いました。小学1・2年生はトーナメント方式の試合は行わず、対戦をしました。今年度は五色百人一首の「青札」を使用しました。

静まり返った体育館の中、読み手の声を集中して聞き、どの学年も真剣な様子で百人一首に取り組んでいました。小学校、中学校それぞれの決勝戦は、畳の周りに集まってみんなで見守りました。小学校ブロックのチャンピオンは、6年生の岡林政吾さん。中学校ブロックのチャンピオンは、2年生の宮城百合愛さん。小学生チャンピオン vs 中学生チャンピオンの戦いは、僅差で中学生の勝利。

どの学年も、授業中や休み時間に熱心に百人一首に取り組んでいた成果が発揮できていたと思います。来年は、どんな勝負を見ることができるのか今からとても楽しみです。

